

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年5月20日（月）
- 2 確認箇所
 - (1) 大型廃棄物保管庫（5／6号機北側造成地）
 - (2) 既設ALPS処理水設備漏えい事象の確認
- 3 確認項目
 - (1) 大型廃棄物保管庫第1棟の整備状況
 - (2) 既設ALPS処理水設備クロスフィルタ洗浄に伴う漏えい事象対応状況
- 4 確認結果の概要
 - (1) 大型廃棄物保管庫第1棟の整備状況

東京電力は、現在屋外で一時保管している使用済セシウム吸着塔を屋内で保管するため5／6号機北側造成地内に大型廃棄物保管庫を整備している。令和3年2月及び令和4年3月の福島県沖地震を受け、令和3年9月時点で福島第一原子力発電所での施設設備の現状と廃炉作業におけるリスク低減の視点を加味した新たな耐震クラス分類が原子力規制庁内で検討され、令和4年11月に原子力規制委員会です承された「東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所における耐震クラス分類と地震動の適用の考え方」を適用させることとなった。

このため、東京電力では当該考え方に基づく大型廃棄物保管庫に係る耐震クラス見直しを行い、建屋本体の耐震補強工事、さらにはクレーン及び架台の設計検討を進め、その結果に基づく追加の補強工事・設備整備を実施してきた。今回は、当該大型廃棄物保管庫の耐震補強工事の進捗状況並びに同保管庫の整備現況を確認した。（図1）

（前回確認：[令和5年12月27日](#)）

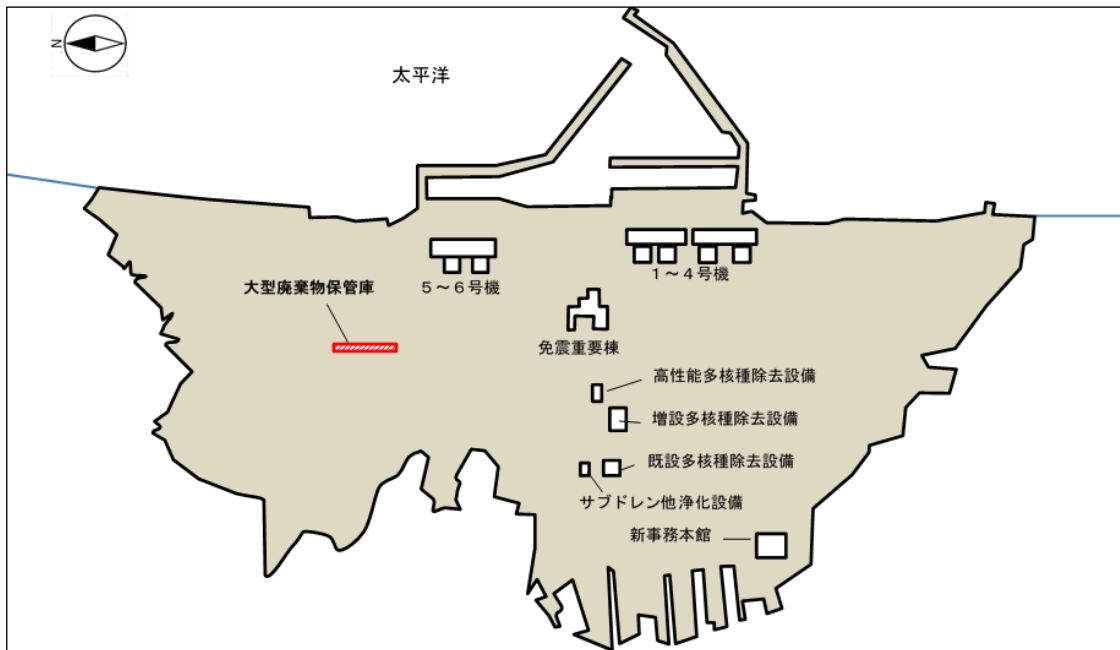
<設備整備の具体的な内容等>

- ・ 大型廃棄物保管庫内部には第二セシウム吸着装置（SARRY）吸着塔540体相当の保管を行う計画。（受入れ遅延に伴い、見直しも検討）
- ・ 耐震補強については、大型廃棄物保管庫建屋耐震補強内部工事を令和5年度から開始し、本年度は建屋内に新基準に適合したクレーンを設置する予定である。建屋東側の地盤改良を含む補強工事と併せた全体の耐震補強の完了は令和7年度の予定。

<現地確認内容>

- 大型廃棄物保管庫建屋自体は、一旦完成しており、今後追加的に実施される耐震補強整備の状況を確認した。（写真1）
- これから行われる建屋内でのクレーン設置工事の準備状況、並びに建屋の耐震補強（建屋内側の壁面にブレース¹追加、建屋東側にバットレス²設置）についても、現況を確認した。（写真2）
- 建屋2階に設置されている排気設備の状況を確認、付随して設置されている排気ファン、ダストサンプラの状況を確認した。（写真3）
- 建屋北側に設置されている別棟の給気取込口、大型クレーン等の重機アームからの吊り具（ワイヤ）導入口を建屋屋上から確認した。（写真4）

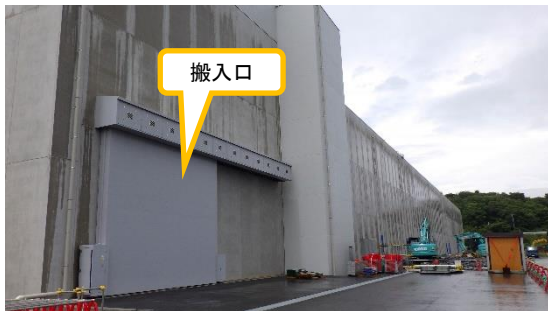
- (2) 既設ALPS処理水設備クロスフィルタ洗浄に伴う漏えい事象対応状況
既設ALPS処理設備クロスフィルタ洗浄に伴う漏えい事象の対応状況
(漏えい物回収)を確認。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

¹ 建築で使用される補強材。筋交いとも呼ばれる。

² 壁面の垂直方向に設置される控え壁のこと。今回の大型廃棄物保管庫では、鉄骨で構成される予定。



(写真1-1)

大型廃棄物保管庫の外観①（南東側から撮影）

東側では、砂利撤去及び地盤改良・バットレス²設置に向けた準備工事を実施中。



(写真1-2)

大型廃棄物保管庫の外観②（北東側から撮影）

南側には、今後、建屋内クレーンの吊り部（ガーダ）を搬入するために使用する大型クレーンの設置場所に鉄板を敷設予定。



(写真2-1)

貯蔵エリア状況①（南側から撮影）

クレーンの組み立て時に使用する仮設レールのうち、東側仮設レールは設置完了、今後の西側仮設レール敷設に向けて準備工事を実施中であった。



(写真2-2)

貯蔵エリアの状況②（南側から西面を撮影）

今回は、既設ブレースの隣にブレースが追加されていた。



(写真 2 - 3)

貯蔵エリア東側の状況

(手前搬入口前から東面を撮影)
東側には、運搬クレーンの運転用レールが敷設されていた。



(写真 2 - 4)

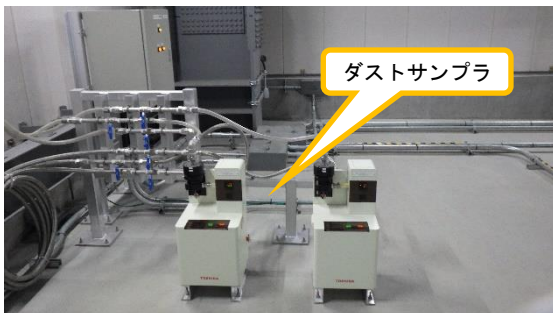
建屋東側バットレス設置予定箇所

(砂利を剥がし、地下地盤改良工事
及び建屋東面へのバットレス設置工
事に向けた作業が進行中)



(写真 3 - 1)

建屋 2 階排気設備の状況



(写真 3 - 2)

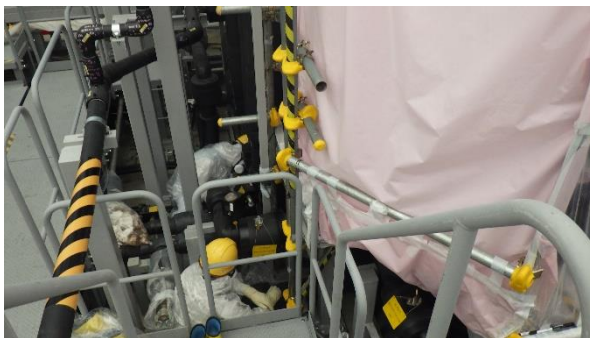
ダストサンプラの設置・配管状況



(写真4)
建屋2階南側
大型クレーン吊具の導入口



(写真5-1)
既設ALPS処理水設備・漏えい事象
への対応状況①
漏えいは、奥の白シートの下部
(1m×3m×1mm)と推定され、作業員ら
が拭取り等を実施。



(写真5-2)
既設ALPS処理水設備・漏えい事象
への対応状況②
漏えい箇所はピンクシート下部まで
及んでいるものと思われ、作業員が
潜り込んで拭取り・線量確認等の作
業を行っていた。

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。